木を植えています
私たちはイオンです

CSR/ESGレポート 2020

Our Hearts for "Life Design Developer"
暮らしの未来をつくるのは、一人ひとりの想いです。

AEON MALL

イオンモール株式会社

イオンモール センソックシティ(カンボジア)

イオンモール ハドン(ベトナム)

イオンモール タンフーセラドン(ベトナム)

人へ。地域へ。未来へ。
届けたい想いが、新しい価値を生み出します。

イオンモールが皆さまにご提供できるのは
目に見える商品やサービスばかりではありません。

お客さまには、大切な家族や仲間と笑顔で過ごすひとときや、
新しい趣味や楽しみに出会うときめきを。
館内で働く人たちには、気持ちよく活躍できる職場環境を。
地域の皆さまには、災害時もここにいれば大丈夫だと思える安心を。
そして、次の世代を担う子どもたちには、美しい自然を。

イオンモールで過ごす時間はもちろん、
毎日を、暮らしの未来を、いっそう豊かなものに。
私たちが経営理念に掲げる“Life Design Developer”には
こうした一人ひとりの想いが込められています。

本冊子では、真のライフデザインディベロッパーを目指して
当社がいま重点的に取り組む課題（マテリアリティ）を中心に、
具体的な企業活動と、その原動力となる私たちの想いを
ご紹介してまいります。

イオンモール常熟新区（中国・江蘇省）

イオンモール青島西海岸新区（中国・山東省）

イオンモール東浦（愛知県）

イオンモールの理念

基本理念

お客さま第一

経営理念

イオンモールは、地域とともに
「暮らしの未来」をつくる
Life Design Developerです。

経営ビジョン

アジア50億人の心を動かす企業へ

コーポレート・メッセージ

ひとも、まちも、きらきら。

会社概要

社名	イオンモール株式会社
設立	1911年（明治44年）11月
資本金	42,347百万円（2020年2月末現在）
事業内容	大規模地域開発及びショッピングモール開発と運営 不動産売買・賃貸・仲介［国土交通大臣（3）第7682号］
従業員数	4,927名（2020年2月末現在）

本冊子について

編集方針	本冊子は、当社が創造する価値をいかにしてステークホルダーの皆さまにご提供しているかをご報告するために制作しています。2019年度の企業活動の中から事例を取り上げ、具体的にご紹介してまいります。
対象組織	イオンモール株式会社 イオンモール株式会社に属するグループ企業とその管理する施設が原則となりますが、環境指標については、イオンリテール株式会社から運営委託を受けている58モール、mozo wondercity、神戸ハーバーランドumie、カテプリ、イオンSENRITO専門館、株式会社OPAの商業施設を除きます。
対象期間	2019年3月1日から2020年2月29日 対象期間外の情報に関してはそのつど表記しています。 また社員の役職は2020年2月末現在のものです。
発行	2020年5月

Contents

6 Top Message

8 Life Design Developer を実現するために

10 ブランドコミュニケーション

12 地域とのつながり
一人ひとりの暮らしをつくる商業施設へ
地域の文化・産業を継続的に発信
地域社会の課題解決に貢献

18 地域・社会インフラ開発
災害に強い施設づくりで安全・安心を提供
利便性を高め快適な暮らしを提供

22 環境
持続可能な資源の利用
脱炭素社会への取り組み
緑豊かで資源が循環するモールづくり

28 ダイバーシティ・働き方改革
ワークライフバランスの実現
快適な職場環境を提供

32 責任あるビジネスの推進
公正な事業遂行のために

34 国内・海外モールの最新動向

36 外部機関による認証・評価

38 イオンモール データ集

43 補足データ

SDGs (Sustainable Development Goals)
[持続可能な開発目標]

当社はISO26000に対応するCSR活動を行うとともに、国際社会全体の開発目標として2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された17項目の「持続可能な開発目標」の実現に寄与する企業活動に全社を挙げて取り組んでいます。本冊子は、これらの開発目標に関わる当社の取り組みについて、それぞれのマークを記載してご紹介します。

近年、地球規模での「気候変動」が起こり、既に世界各地で自然環境や人の暮らしにさまざまな影響や被害が現れ始めております。
国内においても「気候変動」の影響は顕著に現れ始め、昨年度は広範囲の地域が大規模な自然災害に見舞われました。
このような状況の中、当社の施設の多くは地域の防災活動拠点として、地域の皆さまの一時避難先、復興の拠点となるべく努めてまいりました。
一方、世界規模で喫緊の問題になっている海洋プラスチックについても環境社会との共存を目指し、様々な取り組みを実施していきます。

私たちは、お客さま、社会のニーズに応え持続的な成長を実現するため、ESG（環境・社会・ガバナンス）マネジメントに取り組んでおります。

いつの時代にも社会環境変化を捉え、事業パートナーとともに私たちが提供すべき価値を考え、出店するすべての国のお客さま、地域の皆さまの暮らしの中へ、安全・安心・快適さを提供し、お客さまの暮らしに彩りを提供するライフデザインディベロッパーとして「ハピネスモール」を継続的に推進しています。

これらの取り組みを実践するため、当社の従業員の多様性を活かし従業員一人ひとりが能力を発揮できる環境を整えるとともに、出店する国・地域と、事業パートナーとの信頼関係をより深め、皆さまと共にイオンモールのさらなる価値向上を追求してまいります。

本冊子は、当社が掲げる理念をすべての出発点として取り組んできたさまざまな企業活動の一端を、私たちの想いとともにまとめたものとなります。
ご一読いただくとともに、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

イオンモール株式会社
代表取締役社長
岩村康次

経営理念

イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくるLife Design Developerです。

重要課題（マテリアリティ）への取り組み

さまざまな社会的課題のなかで、当社とステークホルダーに改善・解決に取り組んでいます。

	地域とのつながり	地域・社会インフラ開発
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	3 すべての人に健康と福祉を 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に
私たちの想い	私たちは、地域の文化を尊重し発展・継承に貢献します。 また、今後さらに少子高齢化が進むなかで生まれる社会課題の解決を目指しています。	私たちは、地域の皆さまのインフラ拠点として生活を便利にするだけでなく、災害に強い施設づくりで安全・安心を提供します。
私たちが取り組む10の重要課題	**文化の保存・継承** **少子化・高齢化社会**	**持続可能かつレジリエントなインフラ開発** **生産消費形態**
	P12～	P18～

ハートフル・サステナブル
ひと、社会、地球の未来をいつまでも。

ライフデザインディベロッパーの経営理念のもと、企業市民として、持続的な社会の実現に向けて、地域・社会に貢献・活性化する取り組みを「ハートフル・サステナブル」としました。当社だけでなく、お客さま、地域社会、パートナー企業さま、株主・投資家さまとともに、より良い社会を目指します。

とって特に重要度が高く、日頃の企業活動と密接な関わりを持つ10項目を経営課題として選定。

環境	ダイバーシティ・働き方改革	責任あるビジネスの推進
私たちは、気候変動など地球規模の環境課題の解決だけでなく、地域に根ざし、自然と調和したまちづくりを推進しています。	私たちは、国籍や性別に関わらず、専門店に勤務する方や当社従業員など多様な人材が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。	私たちは、さまざまな国や地域において、人権が尊重される社会の実現を推進しています。 また、監査制度を整えることで、贈収賄など社内の不正行為に対して厳正に対処しています。
気候変動・地球温暖化 **生物多様性・資源の保護**	**健康と福祉** **多様性・働き方**	**人権** **贈収賄**
P22～	P28～	P32～

Life Design Developerの理念を具現化する取り組みを、
「ハピネスモール」を通してさまざまなブランドコミュニケーションを行っています。
前ページで示した重要課題（マテリアリティ）を解決する具体的な施策として、多岐にわたる活動を行っています。

Life Design Developer を具現化する「ハピネスモール」

イオングループでは、お客さまの心身ともに健康で、豊かな生活づくりへの貢献を目的として、「ヘルス&ウエルネス」への取り組みを推進しています。商業ディベロッパーとして、イオンモールでは、リアルモールならではの価値を提供し、お客さま、地域にとっての「しあわせ」が生まれる場を目指しています。

ハピネスモール を目指して。

イオンモールは、お客さま、地域にとっての
「しあわせ」が生まれる場でありたい。
どんな人でも、どこに住んでいても、どんな時でも、それぞれに
「しあわせ」を感じる暮らしを、人生を送ることができるように。
日々のお買い物はもちろん、さまざまな取り組みを通じて、
お客さまが「しあわせ」を感じる場
「ハピネスモール」を目指していきます。

高等学校書道パフォーマンスグランプリ

SDGs
持続可能な開発目標

ハピネスモールを構成する4つの要素

「ヘルス」「ウエルネス」「コミュニティ」「オポチュニティ」の4つを柱に、さまざまな取り組みを各モールで展開しています。

HEALTH

ココロとカラダを、
楽しく元気に

感動と癒しが、
広がる空間に

WELLNESS

COMMUNITY

地域の笑顔が、
あふれる場に

豊かな
暮らしのための
商品・サービス
体験機会を

OPPORTUNITY

パブリックビューイング

イオンモール de 歌舞伎

一人ひとりの暮らしをつくる商業施設へ

私たちは、ショッピングを楽しむだけでなく、スポーツ、音楽、芸術など
人生の楽しみと出会う場を提供し、新しい暮らしを創造します。

産官学とも連携し、進化するイオンモールウォーキング

当社は、お客さまの健康的なライフスタイルをサポートするため館内にウォーキングコースを設置し、季節や天候、時間に左右されず、お買い物をしながら運動を楽しんでいただけるイオンモールウォーキングを国内ほぼすべてのモールで実施しています。イオンモール宮崎（宮崎県）やイオンモール東浦（愛知県）は、千葉大学予防医学センターと協働で、「『健康への気づき』を促すゼロ次予防に基づく空間デザイン・プログラム」を実施。イオンモール宮崎では、さらに歩数計機能やランキング機能を備えた宮崎県公式ウォーキングスマートフォンアプリ「SALKO(サルコー)」とも連携して健康への意識向上に取り組んでいます。

『健康への気づき』を促すゼロ次予防に基づく空間デザイン・プログラム

■ ステップウォーキング

デザインの上を歩くことで、年代別・身長別に適正値とされる歩幅と自身の歩幅を比較できます。

■ クライムウォーキング

身体活動量の増加を目的に、積極的な階段の利用を促進。階段の歩行にあわせて童謡が流れるほか、カラフルなデザインが楽しめます。

■ バランスウォーキング

歩行姿勢を見直すきっかけづくりとして、歩行スピードやバランス、姿勢などから歩行年齢を測定し、フィードバックを行う通路を設置しました。

SDGs
持続可能な開発目標

スポーツ庁のSport in Lifeプロジェクトに賛同

当社はかねてより、厚生労働省やスポーツ庁が目指す健康増進の取り組みに協力してまいりました。2019年には、新たにスポーツ庁のプロジェクト「Sport in Life」に賛同。7月から2ヶ月間、約150モールで涼しく快適なモール環境を活かしたスポーツ体験企画「モールdeスポーツ」を実施し、スポーツ体験イベントやお買い物ついでに体を動かす楽しさを体感していただきました。

Sport in Life

スポーツに出会う場としてイオンモールさんの可能性に期待します。

国内で世界的なスポーツイベントの開催が続くなか、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会を実現するために「Sport in Life」のプロジェクトをスタートしました。成人のスポーツ実施率を65%まで引き上げる目標を掲げ、スポーツ界だけでなく幅広い企業や団体に参画いただいています。
スポーツといっても、必ずしも特別な施設や準備は必要ありません。これまでスポーツに縁のなかった方が日常生活に体を動かす習慣を取り入れて楽しく続けることを推奨しています。全国のイオンモールさんで実施しているウォーキングの取り組みはまさに理想的ですね。着替えの必要もなくショッピングを楽しみながら手軽に歩いていただく試みは、運動習慣のきっかけづくりに最適だと思います。
これからも、さまざまな人が集まる特性を活かしてイオンモールさんがスポーツを通した交流の場となり、またパラスポーツを通した共生社会の実現などにも貢献いただけることを期待しています。

スポーツ庁 審議官
藤江 陽子様

済生会とのまちづくり協定

医療・保健・福祉活動を総合的に提供することを通じてソーシャルインクルージョンを具現化する社会福祉法人恩賜財団済生会と協定を締結し、双方が拠点をもつ地域のまちづくりに貢献。取り組みの第一弾として、2019年6月にイオンモール高岡（富山県）で、“健康”をテーマにイオンモールウォーキングや子ども向け医療の仕事体験などを行いました。

オペラ鑑賞の機会を創出

地域の皆さまの憩いの場となるモールを目指し、公益財団法人日本オペラ振興会（藤原歌劇団・日本オペラ協会）と協力してオペラをより身近に感じていただく機会を提供しています。2017年の開催以来たいへんご好評をいただき、これまでの公演回数は132回に達しました。今年度はより規模を拡大して28モールでオペラコンサートを実施しました。

運動を楽しむ取り組みで健康への意識を強化

当社のハピネスモールの考えは、お客さまへも浸透してきました。これまで推進してきたイオンモールウォーキングをさらに進化させるなど、いっそう健康的な暮らしへの貢献に努め、「イオンモール=スポーツ」のイメージを定着させたいと考えています。今後も、あらゆる年代のお客さまが楽しみながら体力づくりができる施設環境を提供してまいります。

常務取締役 営業本部長　三嶋 章男

地域の文化・産業を継続的に発信

私たちは、地域の魅力を広く発信する取り組みを継続して文化の発展に貢献し、
地元の皆さまとの信頼関係を築いています。

イオンモール新居浜（愛媛県）

地域の魅力を磨く「究極のローカライズ」

経営ビジョンの一つ「私たちは、パートナーとともに、地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。」を実現するため、若手社員を中心に地域の魅力を発信する独自企画を募っています。5年目を迎えた今回は、全国のモールから297案が寄せられました。

地域貢献の取り組みを継続し、地元との信頼関係を強化

イオンモール新居浜（愛媛県）

「東予ものづくり祭（フェス）2019」は、2017年に「究極のローカライズ」企画に選出されて以来、ものづくりの技術力の高さや楽しさを地域の皆さまに伝えていくことを目的に開催しているイベントです。3回目となる今回は、行政や地元企業、高等専門学校と実行委員会を組織するなどいっそう連携を深め、1年目よりさらに進化した企画を実現しました。

■ ものづくりスゴ技対決（空き缶コプター滞空対決）

500mlまでの空き缶に、切断・折り曲げ・接着加工を行い「空き缶コプター」を製作。2階から決められた範囲内に落下させて、滞空時間の長さを競いました。前回まではものづくりに関わる企業や学校のみが参加していましたが、今回は一般の方からも出場者を募集し、お子さまを含む全34組で対決しました。

■ ゲンバ男子・女子コーデコレクション

新居浜市・西条市のものづくりの現場で働く9名がモデルとなり、一人ひとりの仕事中の様子とともに各専門店が考案したコーディネートを展示。お客さまには、見た目が大きく変身するギャップをお楽しみいただきました。

SDGs
持続可能な開発目標

市の課題を共有できる関係を構築

新居浜市を含む3市が合同で開催した地域振興イベント内の企画の一つを「東予ものづくりフェス」でも実施しました。イオンモールさんは買い物にいらっしゃるお客さまが多く、普段ものづくりに興味がない方にも参加いただくことができました。
これまでイオンモールさん主導のもと開催してきた「東予ものづくりフェス」は、今回から実行委員会を発足したことで、参加団体が意見を出し合いながら主体的に企画・運営に携わり、一緒にイベントを作り上げていく組織体制ができたと感じています。製造業の人材不足のほか、新居浜市が抱えるさまざまな問題も、イオンモールさんと協力して解消していきたいと考えています。

新居浜市 経済部
産業振興課 副課長
石川 徹様

継続的な開催を目指して実行委員会を発足

イベント開催も3年目となり、イオンモールさんとはより良い関係が築けています。企画の継続により、ものづくり産業の魅力を広く発信したいと考えており、市民全体で取り組みやすい環境づくりとして公共性を高めるため実行委員会を発足しました。
「空き缶コプター滞空対決」は、各企業が技術力の高さをアピールして認知度を向上するだけでなく、従業員が目標を共有し、達成するために団結する点もメリットですね。製造業以外からも幅広く参加者を募ることで、多くの方にものづくりの面白さを感じていただけました。
今後は、「東予ものづくり祭」を77社ある組合全体に浸透させるほか、広報活動にも力を入れ、製造業の人材不足解消につなげていきたいです。

新居浜機械産業協同組合
事務局長
藤川 祐司様

さらに地域を活性化する企画へと進化

「究極のローカライズ」企画として、入社1年目の2017年に「東予ものづくりフェス」を提案しました。年々盛り上がりを増し、3回目の今回はさらに皆さまにお楽しみいただける企画へと進化しました。今後の継続に向け、今回発足した実行委員会では、ものづくり企業や行政と運営のノウハウを共有しています。
第1回から実施している「ゲンバ男子・女子コーデコレクション」は、従来のやり方を変更してパネル形式でコーディネートを一定期間展示しました。課題だった参加者の負担を軽減するほか、アパレル系の専門店さまからも、「お客さまに長い期間お洋服を見ていただける」と好評でした。
行政からはイベント以外のこともご相談いただくなど、継続することで、より地域との結びつきが強化していると感じます。今後も、イオンモールの従業員として、皆さまのニーズに応えられるように成長してまいります。

イオンモール新居浜
営業担当 長島 実穂

地域の活性化とともに社員の成長機会を創出

「究極のローカライズ」企画をスタートした2015年から、2019年の企画応募数は約1.5倍へと増加しました。その多くは若手社員や地元に密着したフレックス社員（パートタイマー）がそれぞれの地域を盛り上げようと知恵を絞って練り上げたもので、近年はより地元に根ざし、行政からも期待していただける企画が増えています。最優秀企画の担当者は本社でプレゼンをしてもらうほか、一昨年からは全国から選抜した若手社員の学びの機会として、成功事例の企画担当者から苦労した点などを共有いただく研修を実施するなど、社員の成長につながっています。自分で考えた企画が形になるチャンスですので、今後も社員の自由な発想に期待しています。（常務取締役 営業本部長 三嶋 章男）

地域社会の課題解決に貢献

私たちは、少子高齢化にともなう課題の解決や難民支援に取り組むなど
地域社会や各種団体と交流を深めてより良い社会の実現を目指します。

イオンモール下妻（茨城県）

認知症サポーター養成講座

2020年2月、イオンモール下妻（茨城県）では下妻市や関係団体と協力して館内でお客さま向けの「認知症サポーター養成講座」を開催。認知症についての正しい知識や認知症の方とコミュニケーションを取る際の注意点を学ぶとともに、脳に刺激を与えて活性化させるエクササイズ体験などを行いました。こうした講座を各地のモールで行うとともに、専門店および当社従業員を対象にした認知症のお客さまへの接し方を学ぶための講座も順次実施しています。

イオン 幸せの黄色いレシート

毎月11日は、イオンモールの専門店でお買い物の際に黄色いレシートを発行。レシートを地域の福祉団体などの名前が書かれた専用BOXに投函していただくと、合計金額の1%と同等額のイオンギフトカードをその団体に寄付しています。2019年度の寄付額（イオンモール合計）は36,519,447円でした。

2019年度募金活動結果（全国のイオンモール合計）

イオングループの社会貢献活動の一環として各モールで行う募金活動には、例年多くのお客さまからご協力をいただいています。

● 東北障がい者ものづくり応援募金 2019/2/9～3/10	3,857,879円
● ミャンマー学校建設支援募金 2019/4/1～5/26	6,936,570円
● 24時間テレビ募金 2019/6/15～9/1	30,072,260円
● 平成30年7月豪雨 広島県 岡山県 愛媛県 災害募金 2019/6/20～7/21	451,688円
● イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン募金 2019/9/14～10/13	2,318,779円
● 令和元年8月豪雨災害 緊急支援募金 2019/9/10～9/23	390,900円
● 令和元年台風15号災害 緊急支援募金 2019/9/15～10/15	3,684,866円
● 令和元年台風19号被害 緊急支援募金 2019/10/14～10/31	11,556,452円
● 令和元年台風19号等被害 緊急支援募金 2019/11/1～11/17	6,803,695円
● 首里城支援募金 2019/11/1～11/30	12,434,709円
● アジア障がい者支援募金 2019/12/1～12/15	2,832,150円
合計	81,339,948円

SDGs
持続可能な開発目標

難民援助活動を支援

国連UNHCR協会

世界の難民への理解を深める機会として、国連総会で制定された「世界難民の日（World Refugee Day）」（6月20日）の前後の期間に、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の公式支援窓口である特定非営利活動法人 国連UNHCR協会と協同でキャンペーンを実施。難民に関する資料などの案内や募金窓口などの支援ブースを29モールに設置するほか、イオンモール京都桂川（京都府）とイオンモール多摩平の森（東京都）では講師を招いて講演会を行いました。

JAPAN FOR UNHCR
難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

世界の子どもたちを支援

日本ユニセフ協会

子どもの命と権利を守るために世界中で活動するユニセフ（国連児童基金）と協力協定を結ぶ日本ユニセフ協会への支援を2010年から継続して行っています。2019年度は計77モールで募金プログラムへの参加を募るためのスペースを提供しました。また、イオンモール船橋（千葉県）では博物館などを見学して地元の文化に接していただくウォーキングイベントを開催し、参加費を同協会に寄付しました。

献血活動への協力

日本赤十字社

全国のモールで献血会場を提供し、2019年度は全国で196,431名の方にご協力いただきました。イオンモール広島祇園（広島県）、イオンモール名取（宮城県）では幼少期から献血に興味を持っていただく親子向けのイベントを実施。12月には35モールで学生ボランティアが主体となり、同世代を中心に献血を呼びかけました。

海外に魅力をPRする場として日本の自治体や企業に協力

中国・アセアンではお客さまが多く訪れるモールの特性を活かして、現地の方に日本の産業や文化などの魅力を広く発信する場として自治体や企業にスペースを提供しています。質の高い奈良県産の木材の販路開拓や、食文化が楽しめるイベントに利用いただくなど、日本と海外の皆さまを結ぶ拠点となっています。

災害に強い施設づくりで安全・安心を提供

私たちは、つねにお客さまの安全・安心を第一にあらゆる災害対策に取り組み、
万一の際には地域の復興拠点としての役割も担います。

イオンモール木更津（千葉県）

令和元年房総半島台風における災害対応

イオンモール木更津（千葉県）

2019年9月9日から10日にかけて関東地方に上陸し、千葉県では長期にわたる停電、断水、家屋の損壊など甚大な被害をもたらしました。イオンモール木更津では、地域のインフラとしての機能を果たし、復興拠点の役割を担いました。

千葉県内の主な被害状況

最大瞬間風速：57.5m/s ／**住宅被害**（全壊・半壊・一部損壊・床上浸水・床下浸水）：67,369棟／**送電塔**：2本倒壊／**電柱**：1,750本損壊／**停電**：約64万戸／**断水**：約8万9千戸

木更津市との連携

木更津市とイオン株式会社は、イオンモール木更津のオープンに先立って2014年9月に連携に関する協定を締結しており、今回の災害ではイオンスタイル木更津を通した食料の提供、特別臨時シャトルバスの運行など、協力して市民の皆さまの生活を支援しました。

台風上陸から3日後、コンビニでも食料が手に入らないなど混乱が続く状況でイオンモールさんに相談をしたところ、迅速におにぎりを調達していただき、住宅損壊や停電のため公民館に身を寄せていた市民に提供することができました。12月には自衛隊をはじめ多くの関係機関が参加して「きさらづ防災フェスタ」をモールで実施し、あらためて多くの市民に防災の重要性を呼びかけることができました。これからも協力をいっそう深めて市の防災体制を強化していきたいと考えています。

木更津市 総務部 危機管理課 課長 関口 哲也様

SDGs
持続可能な開発目標

地域を支えるインフラ支援の拠点に

9月9日、10日は営業を中止して専門店従業員の安否を確認。施設の安全を確認のうえ営業を再開した11日からは、食料や日用品のお買い物はもちろん、地域のさまざまなインフラを支援する復旧拠点としての機能を果たしました。

■ 飲料水

断水でお困りの地域の皆さまのために、モールの受水槽に緊急用取出口を設置して飲料水をご提供。水質チェックを毎日行っていたため、市や保健所への届け出もスムーズでした。

■ 交通手段

木更津市との協議で、16日から3日間、市内の避難所4箇所とモールを巡回する特別臨時シャトルバスを運行。お買い物に困っている高齢の方や、広いスペースで体を動かしたいお子さまのニーズにお応えしました。

■ 携帯電話の充電スポット

停電が長引いた地域でスマートフォンが利用できないお客さまのために、臨時の充電スポット（最大時で46台分）を設置。ほぼ常時稼働し、有効にご活用いただきました。

■ ガソリン

モール敷地内に出店するコスモ石油販売のステーションも11日に営業を再開。給油に困っていたお客さまが多数来店され、当社の従業員も車列の誘導などをお手伝いしました。

電力復旧の活動拠点として

2019年6月に東京電力ホールディングス株式会社とイオン株式会社が締結した「災害時における相互支援に関する協定」に基づき、東京電力や日本各地の電力会社にモールの駐車スペース（最大時で約1,000台）を提供し、館内の会議室などもご利用いただきました。

当社が経験したことのない規模の災害の復旧拠点として最大限の協力をいただいたことに感謝いたします。数ヶ月前にイオンさんと締結したばかりの協定が活かされるかたちになりました。大規模停電が発生した9日にイオン本社に連絡を取って800台規模の駐車スペースを打診したところ、すぐに現場へ取り次いで迅速なご協力をいただきました。想定外に復旧作業が長引くなかでも「遠慮なく使ってください」とおっしゃっていただき、物資の調達などにもご協力をいただきました。

東京電力ホールディングス株式会社
経営企画ユニット
総務・法務室 防災担当 部長代理
矢田 照博様

東京電力のほかに全国から電力会社9社がイオンモール木更津さんに駆けつけました。多くの作業員に情報を伝達するには1ヶ所に集まっていると効率がよく、駐車場と会議室を有効に活用させていただきました。公園や校庭を利用する場合と違って、イオンモールさんでは食品や物資も購入できるため作業員の負担も大幅に軽減されたと思います。事務所の方はつねに快く接してくださり、飲食店の皆さまからも温かい心遣いをいただきました。現場を代表してお礼を申し上げます。

東京電力パワーグリッド株式会社
木更津支社
木更津地域配電建設グループマネージャー
瀧本 明広様

利便性を高め快適な暮らしを提供

私たちは、最新のデジタル設備を導入するほか社会インフラを整備するなど、
皆さまの暮らしに寄り添うモールづくりに取り組んでいます。

「スマートモール」への取り組み

デジタルを利用してお客さまのお買い物をより便利にする、「スマートモール」の実現を目指しています。イオンモール幕張新都心（千葉県）をパイロットモールとしてさまざまな最先端技術の導入を進めています。

■ ショッピングモビリティ

「疲れず楽しくショッピングしたい」というシニア世代のご要望にお応えして、館内の移動をサポートする電動車いす型カートの貸し出しを行っています。大きな荷物を入れることができるカゴの設置や、安心して操作ができるハンドル設計で快適にご利用いただいています。

■ 小型AIインフォメーション

画面のメニュータッチや話しかけることで、館内施設や目的の専門店、免税店、バスの時刻表などを案内するシステムをモール内の各所に設置。日本語のほか、英語、中国語、韓国語にも対応します。

■ お買い物ナビ

館内を移動することなく目的の商品を探したい、商品を比較したいというお客さまのご要望にお応えし、専門店を横断した商品検索を可能にするシステムを導入。カテゴリーやフリーワードによる検索ができるほか、お手持ちの画像に似た商品を探すことも可能です。

SDGs
持続可能な開発目標

EV(電気自動車)の普及・利用を促進

2008年より当社は地球環境の保全、持続可能な社会の実現を目指し、CO_2を排出しない電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及を推進するため、各モールにEV充電器の設置を進めています。2020年2月末現在、国内138モールに計1,837基の充電器ネットワークを構築したほか、中国でも14モールに564基、アセアンでは2モールに3基を設置。また、イオンモール ハ ドン(ベトナム)ではEVバイクの充電器を20基設置しています。

イオンモールむさし村山(東京都)

イオンモール ハ ドン(ベトナム)

ユニバーサルデザイン

あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は本格的なユニバーサルデザインを導入し、定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからご意見を伺い、継続的な改善に取り組んでいます。

公共交通機関の利用促進

駅から徒歩圏内の一部のモールでは、鉄道会社や交通局と連携して電車で来店されたお客さまに特典を提供しているほか、駅、空港とモールを結ぶシャトルバスを運行するなど、お客さまが公共交通機関を利用して来店いただける環境の整備に努めています。

投票所の設置

地域の皆さまの生活サービスの向上を目指して、選挙が実施される際には投票所を開設。大規模な駐車場や乗り入れバスなどにより来場しやすく、快適な施設環境でお客さまに投票をしていただくとともに、モールに勤務する従業員にとっても投票しやすい環境を提供しています。2019年7月に行われた第25回参議院議員通常選挙では、全国56のイオンモールおよびイオンショッピングセンターに期日前投票所(一部では当日投票所)を設置しました。

持続可能な資源の利用

私たちは、プラスチック製品の使用削減に率先して取り組み、
多くの専門店のご協力のもとで環境活動を推進しています。

使い捨てプラスチック製品の全面的な廃止を見据え、全モールで脱プラスチック製ストローを推進

近年、海洋生物などの生態系に影響を及ぼすとされるプラスチック製品の利用機会を減らす動きが世界的に加速しています。当社でも持続可能なモールの実現や地球環境保全のために、廃プラスチックの94.9%（2019年度）をリサイクルするなどの活動を積極的に進めてきました。さらに、使い捨てプラスチック製品自体の使用ゼロを将来の目標に掲げ、まずは2020年3月16日に全モールで飲食系専門店におけるプラスチック製ストローの提供を終了しました（一部店舗を除く）。ストローを希望されるお客さまには紙製ストローなどの環境に配慮した代替品をご用意しています。今後も出店企業さまと協議を重ねてプラスチックの使用削減を進めてまいります。

館内にポスターやリーフレットを設置し、
お客さまにご理解・ご協力を呼びかけました。

SDGs
持続可能な開発目標

専門店として「脱プラスチック製ストロー」に賛同します

当社は、完熟フルーツを使用したジュースを提供する「果汁工房 果琳」などを約90のイオンモールさんに出店しています。天候に大きく影響される果実を扱うため以前から環境問題に大きな関心があり、社内でも問題意識を共有しています。
イオンモールさんからプラスチック製ストローの廃止について打診があったのは、2019年の秋ごろです。当社も紙製ストローの導入を検討していたタイミングだったこともあり、二つ返事でご協力させていただきました。パイロットモール内の店舗でも、スタッフへのオペレーションは問題なく進み、お客さまにもスムーズに受け入れていただいていると感じています。持続可能な社会の実現のためにも、今後はさらにごみの削減を追求してまいります。

株式会社 青木商店
常務取締役 フルーツバー営業本部長
渡邊 健史様

新たな試みでいっそう環境に配慮したモールへ

ご出店いただいている飲食系専門店の企業さまに当社の考えを説明してプラスチック製ストローの廃止を呼びかけたところ、大多数からご理解をいただき、快くご協力をいただくことができました。あらためて感謝を申し上げます。一部に諸事情で実施まで時間を要する企業さまもありますが、提案の趣旨にはご賛同をいただいています。ストローを紙製に切り替えるだけではなく、お客さまに「ストローは不要」という選択肢を提示することで、使用量を削減していきたいですね。
これから新たに出店いただく飲食系の専門店にもプラスチック製ストローを使用しないようご理解・ご協力いただくなど、当社の方針を共有し、環境問題に向き合う専門店と関係を深化させたいと考えています。今後はさらに国際的なスポーツ大会の開催なども追い風となり、世界的な環境への意識の高まりが国内の消費傾向に反映されることを見据えて、モール内のプラスチック製品の利用を減らしてまいります。

常務取締役 リーシング本部長
藤木 光広

海外モールで加速するプラスチック製ストローの廃止

ベトナムでは、プラスチック廃棄物の年間排出量が世界109カ国中17番目に多く、1週間のプラスチック製レジ袋の使用量は1世帯あたり平均35枚、国全体で約9億3,800枚にのぼると推定されています。
プラスチックの使用を減らすため、イオンモール ビンタンでは2019年6月5日の世界環境の日から、毎月5日・20日にプラスチック素材以外のストローを利用する「ノンプラスチックストロー Day」を開始。フードコート内の6店舗でライス製ストローを配布しています。ベトナム国内の他モールでも順次導入を進め、全5モールが取り組みを実施しています。

脱炭素社会への取り組み

私たちは、最新技術の導入により二酸化炭素の排出を抑えるとともに
自然エネルギーの利用を推進して環境に配慮したモールづくりに取り組んでいます。

ソーラーウォール（イオンモール座間）

省エネルギーの取り組みを推進

当社は、2012年にスタートした「イオンのecoプロジェクト」で2020年までの達成目標として掲げた、「2010年度比でエネルギー使用量50%削減」の達成に努めています。さらに、2018年3月に発表した「イオン脱炭素ビジョン2050」では、イオングループの新たな挑戦として省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用などを通じて、2050年に向けて「脱炭素社会」の実現を目指します。これまで取り組んできた環境配慮型のモデル店舗「スマートイオン」はイオングループで13拠点（うち12モールが当社運営）になりました。脱炭素の視点でさらに進化させた「次世代スマートイオン」の開発にも取り組んでおり、イオンモール座間（神奈川県）ではイオングループの標準的な店舗と比較してCO_2排出量を大幅に削減しています。

全従業員の約82%がeco検定を取得

環境保護に対する意識の向上および取り組みの推進を目的として、国内の従業員にeco検定の取得を推進しており、対象となる1,619名のうち約82%にあたる1,327名がeco検定を取得しています。

SDGs
持続可能な開発目標

太陽光発電の活用

■ 全88モールで太陽光発電システムを採用

他の商業施設に先駆けて太陽光発電設備を国内71モール、海外17モールに導入しており、一部のモールでは停電時にも電力を活用できるシステムを採用しています。イオンモール センソックシティ（カンボジア）では、1MW級の太陽光発電設備と高効率チラーを屋上に設置し、年間約1,564トンの大幅なCO_2削減を目指しています。

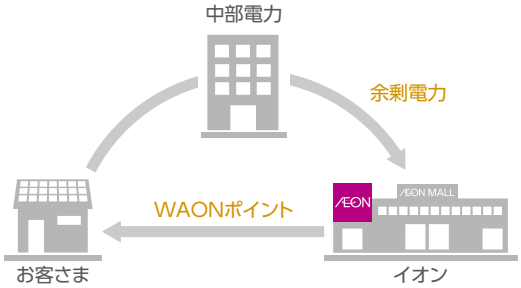
■ PPA（電力販売契約）モデルの導入

電力事業者が電力需要家の敷地や屋根などに太陽光パネルを設置し、発電された電力を需要家が購入するPPAモデルを導入。イオン藤井寺ショッピングセンター（大阪府）では太陽光発電設備を屋上に設置し、一般家庭約30世帯の年間使用量相当の電力を発電し、施設内の電力の一部として活用しています。2020年6月より、イオンモール松本（長野県）やイオンモール津南（三重県）でも取り組みを開始予定です。

イオン藤井寺ショッピングセンター（大阪府）

■ 家庭の余剰電力を有効活用

イオングループは中部電力と協力して、再生可能エネルギーの利用拡大を目指しています。ご家庭の太陽光発電による余剰電力を中部電力が募り、ご提供いただいたお客さまには電力量に応じたWAONポイントを進呈。集めた電力は、愛知県内のイオンモール名古屋茶屋、イオンモール長久手、イオンモール岡崎でCO_2排出量削減の施策に活用しています。この3モールでは2019年4月より、CO_2が発生しない再生可能エネルギーの発電所で発電された電力の受電を開始しました。2019年4月から12月までの9ヶ月で、約6,700トンのCO_2を削減しました。同様の取り組みを他地域の電力会社とも進めてまいります。



電気自動車に蓄えた電力をモールで活用する実証実験

電気自動車（EV）のバッテリーに蓄えた電力を、家や施設に提供（放電）して有効活用するV2H（Vehicle to Home）。関西電力株式会社、株式会社エネゲート、大阪府堺市、イオン株式会社および当社では、このV2Hを応用した実験をイオンモール堺鉄砲町で進めています。

この実験では、モール館内で電力需要の高まる時間帯を予測し、EVを所有するモニターのお客さまに来館のご協力を要請。個々のEVから放電していただいた電力を館内で利用し、ご協力いただいたお客さまにはWAONポイントを付与します。この実験は、電力の需給バランスをとるために複数のEVを一括制御してひとつの発電所のように利用する「バーチャルパワープラント」の実用化や、RE100・EV100へ繋がる取り組みとして注目を集めています。

イオンモール堺鉄砲町（大阪府）

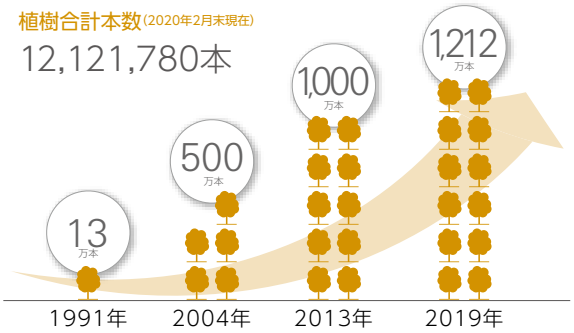
緑豊かで資源が循環するモールづくり

私たちは、皆さまが環境とふれあう機会を創出するほか廃棄物管理を徹底し、
自然と調和するまちづくりを推進しています。

育樹祭（イオンモール松本）

イオン ふるさとの森づくり

1991年にマレーシアでスタートした「イオン ふるさとの森づくり」。イオングループは、植樹活動を「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念を具現化する活動と位置付けています。国内・海外ともに新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した、土地本来の樹木をお客さまとともに植える植樹祭を行っています。2019年度、当社は国内外の新規オープンした4モールで約28,700本の植樹を行いました。2020年2月末現在、グループの累計植樹本数は約1,212万本に達しています。



環境イベントでエコ活動を促進

3R（リデュース・リユース・リサイクル）の促進を目指す環境省の取り組みに賛同し、イオンモール幕張新都心（千葉県）で「Re-Style FES!」の開催に協力しました。イオンモールが実施する脱プラスチックの取り組みを周知させるため、お子さま向けにワークショップや展示を実施し、楽しみながら学んでいただきました。

SDGs 持続可能な開発目標

廃棄物削減とリサイクル

モールから出る廃棄物の削減では、専門店に協力をいただいて、「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各モールでは、廃棄物を基本18品目に分類したうえで品目ごとに計量するシステムを導入しています。専門店は各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめて廃棄します。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。

2019年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

国内直営モールのリサイクル率（サーマル・リサイクル含む） 89.4%

項目別排出量とリサイクル率

1	生ゴミ	16,060t	91.9%	10	廃油	2,167t	100.0%
2	段ボール	23,262t	100.0%	11	紙類	2,433t	100.0%
3	雑芥	23,110t	74.8%	12	粗大ゴミ	216t	92.7%
4	廃プラスチック	3,543t	94.9%	13	その他不燃ゴミ	1,399t	61.6%
5	廃プラスチック（有価）	106t	100.0%	14	蛍光灯	17t	91.9%
6	ペットボトル	606t	100.0%	15	廃電池	16t	87.6%
7	ビン	367t	97.5%	16	ワリバシ	115t	97.0%
8	缶	606t	100.0%	17	廃アルカリ・剥離剤	17t	23.0%
9	発泡スチロール	132t	100.0%	18	汚泥	5,321t	90.4%

カンボジアにおけるごみ分別の取り組み

急激な経済成長に伴って、ごみの増加が社会問題になっているカンボジア。プノンペンの市街地では毎日2,500トン以上のごみが排出され、その8割が適切に処理されず埋め立て処分されるなどさまざまな課題が指摘されています。そのなかでも、当社は率先して環境に配慮したモールづくりを行っており、イオンモール センソックシティは、環境保護に取り組む模範的なショッピングモールであると評価され、環境大臣から表彰されました。

徹底した管理でリサイクルの仕組みを構築

廃棄物は各専門店で分別したあとごみ庫で一時保管し、リサイクルが可能なごみはNGO団体に処理を委託しています。種類ごとに正しく分けられているかを清掃員が確認するなど、管理を徹底することでリサイクル率向上に貢献しています。まだまだごみを適切に処分する習慣が暮らしに根づいていないため、専門店従業員には新人研修で教育するほか、毎月指導を行うことで当社の環境への意識を共有しています。

事務所内でも資源の利用削減を推進しており、備品の使い方を見直すことでごみを出さないよう努めています。今後も従業員への教育を継続することでリサイクルの重要性を浸透させ、国内全体の環境意識の向上につなげたいですね。

イオンモール センソックシティ
管理マネージャー
イム ビボルカ

専門店も協力しています

ごみ庫は、清潔感が保たれ整理整頓されているためとても使いやすいです。アルミ缶やペットボトルといったリサイクルが可能な廃棄物はきちんと再利用されており、イオンモールさんの環境への取り組みや考え方は素晴らしいと感じています。

クリスピー・クリーム
カスタマーサービス
シァト カカダ様

ワークライフバランスの実現

私たちは、すべての従業員がそれぞれのライフステージに応じた働き方ができるように制度を整えるとともに、各制度を利用しやすい職場環境づくりに努めています。

イオンゆめみらい保育園（イオンモールいわき小名浜）

人材の多様性を企業の強みとして活かすために

当社の事業においてダイバーシティの推進には大きな意義があります。さまざまなお客さまが来店されるなかで「お客さま第一」の理念を実現するためには従業員にも多様な人材が揃うことが望ましく、異なる視点からの意見を積極的に交わすことで創造的なアイディアが生まれてきます。2016年度末には115名(13.2%)だった女性管理職は2019年度末に155名(17.4%)と増加しており、上位職へチャレンジする意欲の高い女性社員も目立ってきました。経済産業省が東京証券取引所と共同で女性の活躍推進に優れた上場企業を選定、発表する「なでしこ銘柄」に選出されるなど外部から高い評価を得ることで企業価値も向上し、優秀な人材の確保にもつながっています。性別に関わらず、子育てや介護などライフステージに変化が生じた場合にも無理なく働けるよう柔軟な選択肢を用意しており、こうした制度をより利用しやすい職場環境を整えることでキャリア形成の土台づくりに努めています。

取締役 管理本部長
岡本 正彦

「イオンゆめみらい保育園」の展開

子育てをしながら働く従業員の活躍をサポートする「イオンゆめみらい保育園」は、2020年2月末現在イオングループで全国に30園、そのうち20園が当社の商業施設で運営され、イオングループ各社や専門店の従業員、地域住民の方にご利用いただいています。原則年中無休で各モールの営業時間に合わせて運営しており、各専門店が仕事と育児を両立するスタッフを受け入れて長く働き続けていただくための環境づくりを支援。天候に左右されないイオンホールで運動会を開催するなど、モール内の保育園だからこそできるイベントや地域の特性を活かした行事で子どもが心身ともに成長する機会を創出しています。

SDGs
持続可能な開発目標

育児休業を取得した男性社員の声

当社では出産や育児と仕事の両立を支援するための各種制度を整えるとともに、制度を利用しやすい職場環境づくりに取り組んでいます。ここでは育児休業を取得した男性社員の声をご紹介します。

他の休暇と組み合わせて有効に活用

首都圏事業部に所属していた2019年7月に第3子が生まれ、上の子ふたりの面倒を見るために育児休業を取得しました。当初は通常休日と年次の長期休暇で5日間だけ取得する予定でしたが、人事部からの勧めもあって育児休業を組み合わせました。
出産直後は、近所の方のお気遣いや祖父母の助けとともに、弟ができたことが嬉しくてはしゃいでいた上の子たちの様子が強く印象に残っていますね。月末に育児休業を取得していると社会保険料が免除になるなど、それまで知らなかった制度上のメリットも多く、今後は後輩たちにも積極的に情報を共有していきたいです。会社全体の取り組みとして、さらに長期にわたる男性社員の育児休業取得が根づくことを願っています。

イオンモールかほく
ゼネラルマネージャー 東 駿太朗

職場でも家庭でも事前の準備が大切

長女の誕生に伴い、2019年11月から42日間の育児休業を取得しました。子どもと触れ合い妻に寄り添う大切な時間だったと思います。取得にあたっては、事前に不在中の組織や業務について上司、同僚と何度も話し合いました。権利行使だけでなく、その間の会社のことを考え、周囲の理解を促すことが今後の取得推進に重要だと思います。というのも、社内の何人かから「ごゆっくり」と声をかけられ、育児休業中に家で何をしているのか理解が進んでいないと感じる場面がありました。
家庭でも、育児休業中の役割について夫婦で事前に話し合うことが重要だと妻に気づかせてもらいました。親子、夫婦、家族の絆が強くなる大切な期間として、男性社員も当たり前に取得する企業風土になることを願っています。

財経統括部 財務部 財務グループ
マネージャー 末松 央行

新しい気づきが多い貴重な体験

私も妻も実家から離れて暮らしているため、第2子が生まれた際に育児休業を含む14日間の休暇を取得しました。ワークライフバランスを重視する職場の雰囲気も後押しになりましたね。いざ休暇に入ると、妻は赤ちゃんのさまざまなケアをするだけでなく、内祝いの手配や各種の届出など、私の気が回らないような負担を抱えていることに気づきました。
育児休業中は、子育てをしながら働くフレックス社員（パートタイマー）の苦労を理解したり、子育て世代の家族がモールに何を求めているかを学んだりと業務に役立つ経験もたくさんできました。もっと多くの方が制度を利用しやすいように各職場で雰囲気づくりを進め、会社にも後押ししていただきたいと考えています。

イオンモール神戸南
オペレーションマネージャー 鈴木 俊哉

きらきら休暇制度

当社では、正社員だけでなくフレックス社員（パートタイマー）も誕生日、記念日、帰省、家族の介護、育児、学校あるいは地域行事などを理由として年間2日まで取得できる「きらきら休暇制度」を導入し、家族と過ごす時間を大切にすることを奨励しています。

快適な職場環境を提供

私たちは、海外モールでローカルスタッフの責任者への登用を推進するとともに
当社や専門店の従業員が長く働きやすい環境を追求します。

活躍の機会を創出する海外モール

2008年に海外1号店を北京に出店して以来、当社は中国で計21モール、インドネシア・ベトナム・カンボジアに計9モールを展開してきました。海外のモールでは、当社の理念を理解したローカルスタッフによる運営を基本方針とし、各国で人材育成に注力するとともに幹部職位への登用も積極的に進めています。中国では、7モールでローカルスタッフがモールの責任者であるゼネラルマネージャー（GM）に就任しています。

イオンモール武漢金銀潭（中国・湖北省）
ゼネラルマネージャー
張 曼（チョウ マン）

モール責任者としてリニューアルプロジェクトを推進

他の日系企業を経て2014年に入社し、当初は研修などを通して「お客さま第一」の理念を徹底的に身につけました。学んだことを活かし、マネージャーとしてお客さまの特性にあわせたイベントを企画・開催するほか、モールの安全性を高めるため館内の防災設備を整えスタッフ教育を徹底するなど、より良いモールづくりに取り組んでまいりました。日本人の上司と意見が異なることもありましたが、考えを共有し、一緒に検討することでお客さまに満足いただける施設を追求しました。

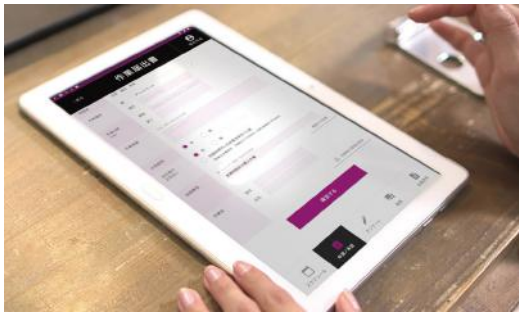
こうした取り組みを評価いただき、2017年にモールの責任者であるGMに就任しました。お客さまの習慣や消費の傾向を深く理解した運営を実現できることが、ローカルスタッフの強みだと考えています。現在は大規模な増床リニューアルを進めており、いっそうお客さまにご支持いただけるモールを目指しています。当社は現地のスタッフが成長し、キャリアアップできる体制が整っています。将来は、新規モールのGMにも挑戦したいですね。

SDGs
持続可能な開発目標

専門店向けの取り組み

■ 効率化を目指すデジタル技術の導入

専門店従業員の作業負担を軽減し、業務を省力化する業務用タブレット「イオンモールワークス」の導入を開始しました。定期的に発生する届出書類の提出を端末による申請にすることで、モールの事務所に足を運んでいただく時間を削減。また、モールからのアンケートやお知らせを配信するとともに、従業員教育がいつでも可能になりました。
タブレットは、わかりやすい画面構成や翻訳機能、館外に持ち出すと電源が切れるセキュリティなどを整え、現在国内79モールに導入しています。

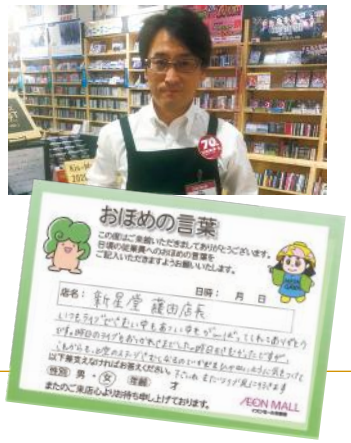


■ 従業員が働きやすい環境づくり

人材不足が社会的な問題になっているなか、当社の商業施設に出店いただいている専門店の従業員が長く活躍できる職場環境を整えてES（従業員満足度）を向上することもディベロッパーとしての責務と考えています。各モールが取り組んでいるES向上施策のうち優秀な事例を「ベストプラクティス」として表彰し、水平展開を図っています。

ベストプラクティスの事例紹介
イオンモール四條畷（大阪府）

専門店従業員のモチベーションアップを目指し、お客さまからの「おほめの言葉」をメッセージカードに記入していただく取り組みを2017年から継続して実施しています。今年度は、さらに従業員休憩室の拡充や健康診断、年2回の従業員懇親会を実施し、皆さまにご好評いただいています。



■ 接客技術の向上を目指して

接客に対する意識の向上を目的に、専門店従業員が日頃培った技術を競い合う「接客ロールプレイングコンテスト」を、国内だけでなく海外でも実施しています。中国では、計19モールから約3,700店舗の従業員、約5万名を対象に、4回目となる全国大会を開催。カンボジア、ベトナム、インドネシアでも実施し、取り組みの輪を広げています。

接客ロールプレイングコンテスト（ベトナム）

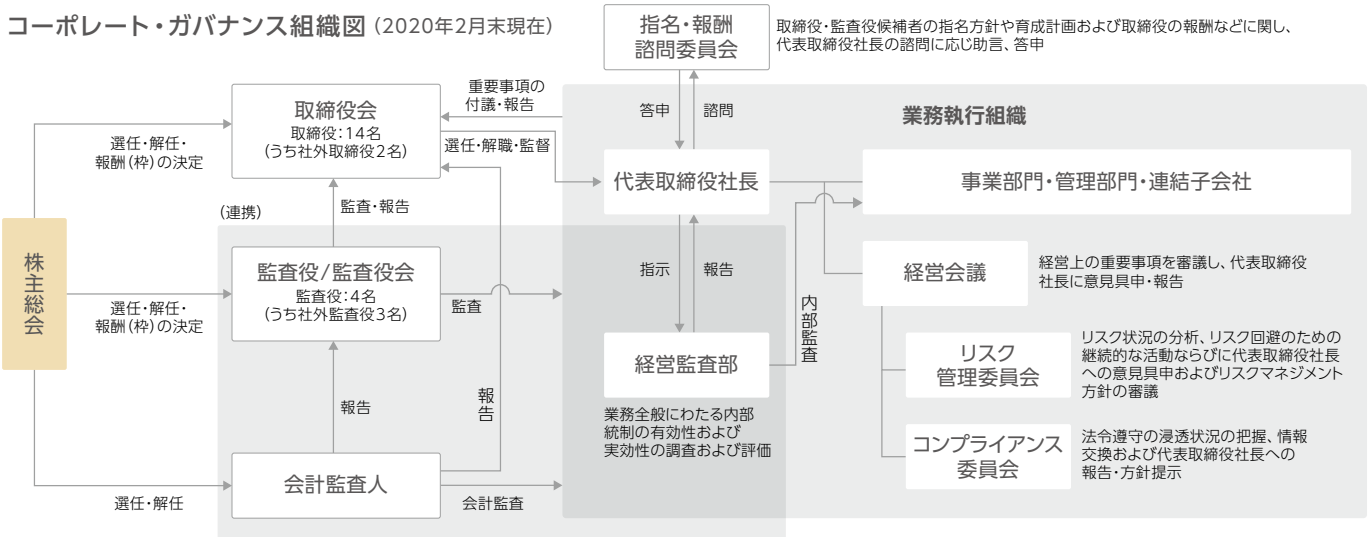
公正な事業遂行のために

私たちは、ガバナンスを強化し、従業員のコンプライアンスへの意識を高めて
イオンモールに関わる全てのステークホルダーの皆さまの人権配慮を徹底しています。

■ 経営体制

社長の諮問機関として経営会議を設置し、経営戦略機能の強化と意思決定プロセスの効率化を進めています。また、代表取締役社長を議長とする取締役会を月1回以上開催することにより、経営監督機能の強化を図っています。

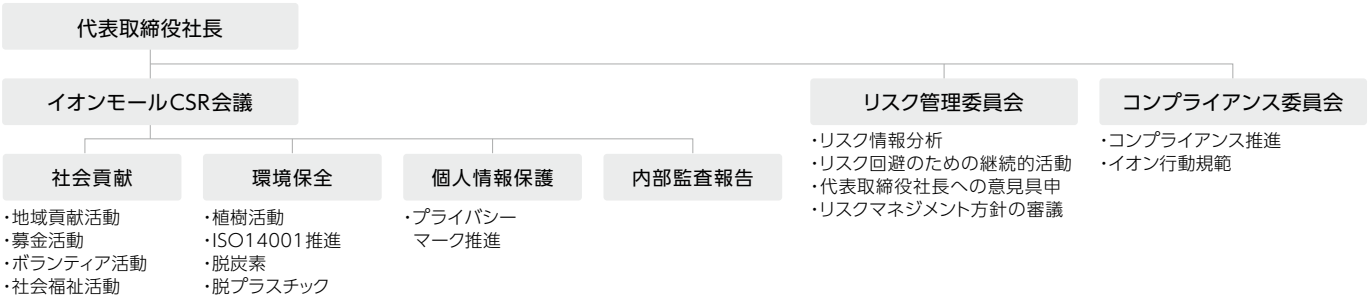
コーポレート・ガバナンス組織図（2020年2月末現在）



取締役会　経営監督機能の強化のため、代表取締役社長を議長とし、月1回以上開催。監査役も出席。（取締役2名、監査役2名が独立役員）

監査役会　監査の実効性・効率性向上のため、会計監査人と内部監査部門である経営監査部と都度相互の情報交換・意見交換を実施。

■ CSR推進体制図



■ 内部統制システム（主要事項の一部）

情報の保存・管理

決裁書、会議議事録などの文書は、その保存媒体に応じた適切かつ確実な検索性の高い状態で保存および管理を行い、必要に応じて閲覧可能な状態を維持するとともに、「文書管理規則」に定められた主管部門が社外漏洩を防止します。

リスクマネジメント

危機の未然防止および危機発生時の被害最小化を目的とした「経営危機管理規則（リスクマネジメント規程）」を策定し、リスクの減少および被害の低減に努めます。緊急かつ重大な損失の危険が発生した場合は、同規則に基づき適切な情報伝達および意思決定により的確な対応を行います。

問題点の指摘と改善

管理本部長を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設け、委員会の議事については、経営会議に報告するとともに、重要案件については、取締役会に報告します。また通報者に不利益が及ばない内部通報窓口として、ヘルプライン・イオンモール「人事110番」を設置します（当社労働組合においても「組合110番」を設置）。報告・通報があった場合、担当部門はその内容を精査して、違反行為があれば社内規程に基づき必要な処置をしたうえで、再発防止策を策定し、「コンプライアンス委員会」に報告します。

SDGs
持続可能な開発目標

コンプライアンス強化の取り組み(中国)

■ コンプライアンス研修

中国で働くイオンモールの従業員約800名を対象に、年に一度モールや事業所ごとに幹部研修および一般研修を実施しています。法律法規や社内規範などをもとに、基礎教育や実際に発生した不正事例の共有をしています。

■ 新店従業員面談

新規モールは従業員の約3分の2が新規採用社員で構成されるため、オープンから一年以内を目処に個人への面談を通してコンプライアンス意識を醸成するなど初期段階の社員教育を徹底しています。

■ 専門店向けの通報窓口の設置

専門店や外部業者の方がハラスメントなどの不当な扱いを受けた場合、メールや電話によりコンプライアンス部に直接通報いただけます。

専門部署を設立しコンプライアンスを強化

不正行為の調査・対応や、防止のための継続的な従業員教育の実施を目的に中国では2017年にコンプライアンス部が発足し、現在4名体制で活動しています。コンプライアンスの知識を身につけ正しい判断ができるように年に一度各モールや事業所で研修を行っており、疑問点には質問が挙がるなど積極的に参加いただいています。さらに新店の従業員向けの面談やイオン110番で通報があった案件の調査を実施するほか、専門店向けにも内部告発の仕組みを構築しています。通報を受けたときは、秘密情報を管理のうえで慎重に事実確認を行い、是正措置に取り組みます。

訴訟が頻発する中国社会では省や市によって法律法規が異なり緊急の対応を求められる機会も多いため、当社の企業規模(800名弱)で、私を含めて5名もの弁護士資格を持つ社員が在籍し、万一の際に迅速に対応しています。従業員の不正を減らすためには、取り組みを継続して着実に浸透させることが重要です。コンプライアンス部が発足した当初と比べて皆さんの意識は向上していますね。全従業員の会社規定や理念の遵守を目指し、より良い職場環境づくりに努めてまいります。

イオンモール(中国)投資有限公司
コンプライアンス部 マネージャー
楊 敏(ヤン ミン)

モールの建設において公平な契約を締結(アセアン)

当社では、あらゆるステークホルダーの人権や労働安全衛生に配慮しています。アセアンのモール開発においても、ゼネコンの選定基準として現地雇用の積極採用や環境保全対策など地域振興への貢献度を重視。発注者である当社と請負者の間で平等にリスクを分担する契約を締結し、高い公平性を維持しています。また、現場への人の出入りをID監理し、児童労働や不法就労を防止するほか作業員の健康診断を実施するなど、人権保護に取り組んでいます。

私たちは、日本・中国・アセアンで、地域の皆さまから求められるモールの開発を行っています。
2019年は国内外で4モールが新たにオープンするとともに、既存モールの積極的な増床・リニューアルを実施しました。

新規オープン

■ 最新のデジタル技術により館内の利便性を向上
イオンモール常熟新区（中国・江蘇省）

2019年6月、中国20店舗目としてオープン。スマートフォンアプリを利用して、館内を移動することなく複数の専門店の洋服をバーチャルで試着できるサイネージを設置しました。また、顔認証を活用した設備を導入しており、認証キーとして顔でロッカーを開閉できるほか、一度来店されたお客さまの名前や前回利用したお店を記憶する人工知能（AI）搭載ロボットが一人ひとりにあったサービスを提案するなど、最新のデジタル技術を集約した新しいショッピングモール体験を提供します。

■ デジタル技術を利用し、モールの新しい価値を創出
イオンモール青島西海岸新区（中国・山東省）

2019年11月、国際的な沿岸リゾート地である青島市にオープン。700インチの巨大なシースルーLEDビジョンで季節感を創出するほか、霧と光で立体的な3D映像を演出するなど、デジタル技術によりエンターテインメント性が高い館内を提供しています。また、最先端の顔認証による決済システムを中国事業として初めて導入し、財布やスマートフォンを持たずにショッピングをお楽しみいただけます。

■ 自然と共生する緑あふれるエコモールが誕生
イオンモール ハ ドン（ベトナム）

2019年12月、環境への意識が高まるベトナムに、自然との共生を意識したライフスタイルを提案するモールをオープン。館内外の随所に樹木を配置し、モールまでの通路は木立のトンネルのようなつる棚を設置しています。また、空調変動に対応した運転が可能な空調チラーを導入して消費電力を削減するなど、環境に配慮したエコ生活を提案しています。

■ 地域に寄り添うコミュニティ拠点が誕生
イオン藤井寺ショッピングセンター（大阪府）

2014年に一旦閉店したイオンモール藤井寺が2019年9月に生まれ変わりました。毎日の暮らしに圧倒的な便利さと食の豊かさ、選べる楽しさを提供する最新型の商業施設として地域の皆さまのご期待にお応えし、新たなにぎわいを創出しました。

SDGs
持続可能な開発目標

増床・リニューアル

■ 北陸最大級のエンターテインメントモールが誕生
イオンモール高岡（富山県）

飛騨・越中・能登エリアの交流拠点を目指して、増床棟を新設するなど全体の約50%をリニューアル。3D迷路スライダーといったお子さまが楽しめる大型室内遊具施設「FUN VILLAGE with トミカ」を世界で初めて出店するなど、充実したアミューズメントを用意しました。

■ 子育て世代にやさしい空間を創出
イオンモール東浦（愛知県）

駐車場として利用していた東側敷地に増床棟を新設。東海地方初出店の7店舗を含む、日常のライフスタイルを彩る122の専門店を刷新しました。3世代のファミリーがさらに楽しめるモールとして、エリア最大級のキッズ・ベビーゾーンを形成しました。

■ 東北最大級のショッピングモールへと進化
イオンモール名取（宮城県）

3階建ての増床棟を新設するとともに、既存棟も大規模なリニューアルを実施。増床棟と駅が直結する2階には、開放感あふれる吹き抜け空間「杜のテラス」を設置し、地元を中心とした人気のカフェ・レストランなどの飲食店を配置しました。

その他2019年度にリニューアルを実施したモール

国内　イオンモール盛岡南（岩手県）/イオンモール三川（山形県）/イオンモール水戸内原（茨城県）/イオンモールつくば（茨城県）/イオンモール羽生（埼玉県）/イオンモール春日部（埼玉県）
イオンモール浦和美園（埼玉県）/イオンモール成田（千葉県）/イオンモールむさし村山（東京都）/イオンモール熱田（愛知県）/イオンモール明和（三重県）/イオンモール堺鉄砲町（大阪府）
イオンモール神戸北（兵庫県）/神戸ハーバーランドumie（兵庫県）/イオンモール広島府中（広島県）/イオンモール福岡（福岡県）/イオンモール沖縄ライカム（沖縄県）

中国　イオンモール蘇州呉中（江蘇省）/イオンモール蘇州新区（江蘇省）/イオンモール杭州良渚新城（浙江省）/イオンモール武漢経開（湖北省）/イオンモール広州番禺広場（広東省）

ベトナム　イオンモール タンフーセラドン/イオンモール ビンタン

私たちは、「人と環境に配慮したモールづくり」を目指し、ハード/ソフトの両面から先進的な取り組みを導入してまいりました。本年度も、国内・海外の各機関から高い評価をいただいています。

外部からの評価

■ GRESBリアルエステイト評価で「Green Star」評価を取得

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク（GRESB）とは、不動産ポートフォリオやインフラなどを含む実物資産の環境・社会・ガバナンス配慮を測る国際的なベンチマークです。環境配慮やサステナビリティに関する取り組みについて、「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れていると高く評価され、「Green Star」評価を獲得。84点（参加企業の平均スコア72点）を取得しました。また、開示情報によって格付けされる「GRESB開示評価（ESG情報開示レベル）」においては、最上位の「A」評価を獲得しました。

■ CDPでスコアBを取得

CDPは、気候変動、水セキュリティ、フォレストのテーマで、企業や自治体の環境対策を調査し、環境情報開示を推進する国際的な環境評価NGOです。気候変動に対する取り組みおよび情報開示が評価され、8段階評価で3番目に高い、スコアBを取得しました。

■ ESG投資のための株価指数構成銘柄に選定

財務情報のみならず、環境・社会・ガバナンスへの取り組み（非財務情報）で企業の価値を測り投資判断の材料とする「ESG投資」。この投資手法が急速に拡大する中で、当社は機関投資家向けに投資情報を提供する機関が、ESG評価に優れた企業を選別して算出する各種指数の構成銘柄に選定されています。

- MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
- なでしこ銘柄2020（4年連続）
- S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数

■ 東京都「心のバリアフリー」好事例企業に登録

さまざまな心身の特性や考えを持つすべての人々が相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合う「心のバリアフリー」。東京都では意識啓発を行う企業を「『心のバリアフリー』サポート企業」に登録して取り組みを推進しています。なかでも、特に優れた企業として当社は「『心のバリアフリー』好事例企業」に選出。専門店を含む従業員に対してユニバーサルデザインやLGBTに関する研修を実施するほか、各モールで健康や福祉に関するイベントを開催している点を評価いただきました。

■ CASBEE不動産評価でSランクを取得

2019年3月にイオンモール甲府昭和（山梨県）は、CASBEE不動産評価で5段階評価のうち最高位のSランクを取得しました。省エネルギーや省資源、リサイクル性能といった環境負荷の低減や、景観への配慮などを含めた建築物の環境性能を総合的に評価して格付けするシステムです。

SDGs
持続可能な開発目標

■ 神奈川県の「環境共生都市づくり事業」に認証

2019年8月、イオンモール座間（神奈川県）は、屋上や壁面に太陽光発電を設置し、環境負荷を低減する取り組みや施設内に路線バス・座間市コミュニティバスの乗降環境の整備、災害時の防災拠点などの取り組みが評価され、「環境共生都市づくり事業」の認証を取得しました。神奈川県が環境と共生する都市づくりの推進に寄与する取り組みを実施する事業について、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」に基づき認証しています。

外部認証の取得

■ 7モールが「DBJ Green Building認証」を新たに取得

「DBJ Green Building認証」は、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）が、対象物件の環境性能に加え、当該物件を取り巻くさまざまなステークホルダーからの社会的要請への配慮などを含めた総合評価システムに基づき認証しています。2019年3月、イオンモール鈴鹿（三重県）、イオンモール太田（群馬県）、イオンモール日吉津（鳥取県）、イオンモール綾川（香川県）が4つ星、イオンモール京都五条（京都府）が3つ星評価を獲得。2019年8月には、埼玉県のイオンレイクタウンkazeとイオンレイクタウンmoriで5段階のうち最高位となる5つ星をいただきました。これにより、合計15施設での同認証取得となりました。

■ 第6回地域貢献大賞で2モールが「地域貢献賞」を受賞

2019年4月、イオンモール天童（山形県）とイオンモール倉敷（岡山県）は、第6回地域貢献大賞で「地域貢献賞」を受賞しました。一般社団法人 日本ショッピングセンター協会が策定した地域貢献ガイドラインをもとに、地域活性化に取り組み、地域コミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているショッピングセンターを表彰するものです。

■ 健康経営優良法人2020（大規模法人部門）に認定

当社は、2020年3月に「健康経営優良法人2020（大規模法人部門）」に認定されました。健康経営優良法人制度は、地域の健康課題や日本健康会議が進める健康増進への取り組みをもとに、経済産業省と日本健康会議の主催で特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

イオンモール データ集

（2020年2月末現在）
※防災協定の欄はイオン株式会社が包括提携協定・相互協力連携協定を締結しているものも含みます。

北海道

		開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量（kW）	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
1.	イオンモール旭川駅前	2015年3月	29,000	900	400	1,800	2015年1月	3	18,697	6	–	○	5	–
2.	カテプリ	2016年12月	13,000	1,800	–	700	2015年1月	2	–	–	–	–	–	–
	小計		42,000	2,700	400	2,500	2	5	18,697	6	–	1	5	–

東北

		開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量（kW）	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
3.	イオンモールつがる柏	1992年11月	40,000	2,600	72,000	800	2006年8月	3	604	–	–	–	12	1
4.	イオンモール下田	1995年4月	59,000	4,000	50,000	1,500	2006年7月	4	1,032	–	–	○	17	1
5.	イオンモール盛岡	2003年8月	52,000	2,600	26,000	1,800	2006年8月	4	479	–	–	○	12	1
6.	イオンモール盛岡南	2006年9月	42,000	2,400	17,000	1,800	2006年8月	3	606	–	–	–	8	1
7.	イオンモール名取	2007年2月	80,000	4,500	49,900	3,300	2007年1月	6	2,099	25	460	–	10	2
8.	イオンモール利府	2000年4月	33,000	3,000	25,000	1,200	2006年8月	2	522	21	–	–	12	1
9.	イオンモール富谷	2003年3月	28,000	2,400	8,600	1,100	2006年6月	4	862	–	–	–	13	1
10.	イオンモール石巻	2007年3月	40,000	2,600	19,200	1,600	2006年11月	3	1,940	16	50	–	9	1
11.	イオンモール秋田	1993年9月	58,000	3,200	43,000	2,100	2006年5月	6	617	54	–	–	16	1
12.	イオンモール大曲	2008年10月	48,000	2,900	15,200	900	2008年10月	1	808	12	–	–	1	1
13.	イオンモール天童	2014年3月	47,000	3,000	15,000	1,800	2015年6月	4	1,251	17	–	–	12	2
14.	イオンモール山形南	2000年11月	26,000	1,700	21,000	800	2010年10月	2	205	–	–	–	7	1
15.	イオンモール三川	2001年7月	40,000	3,300	27,700	600	2006年7月	3	883	–	–	–	11	1
16.	イオンモールいわき小名浜	2018年6月	50,000	1,300	7,000	1,600	2018年6月	4	95	8	–	–	10	2
17.	ショッピングモールフェスタ	1996年4月	32,000	3,800	26,000	900	2006年5月	3	–	–	–	–	–	–
	小計		675,000	43,300	422,600	21,800	15	52	12,003	153	510	2	150	17

関東

		開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量（kW）	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
18.	イオンモール水戸内原	2005年11月	78,000	4,100	49,000	3,600	2006年8月	4	1,512	11	131	○	25	–
19.	イオンモールつくば	2013年3月	64,000	4,000	15,000	2,700	2012年4月	6	526	15	460	○	17	1
20.	イオンモール下妻	1997年11月	36,000	3,100	16,500	1,300	2006年9月	2	216	14	65	–	14	1
21.	イオンモール土浦	2009年5月	58,000	3,300	20,000	2,100	2009年6月	2	1,279	20	130	–	10	1
22.	イオンモール小山	1997年4月	30,000	1,900	19,500	1,000	2006年7月	3	1,396	–	50	○	11	1
23.	イオンモール佐野新都市	2003年4月	32,000	2,300	11,800	1,200	2006年7月	4	1,708	12	–	–	11	1
24.	イオンモール太田	2003年12月	62,000	4,200	54,000	2,400	2006年7月	5	643	14	–	○	13	1
25.	イオンモール高崎	2006年10月	59,000	3,700	50,000	2,400	2007年11月	4	1,792	12	–	○	12	–
26.	イオンモール川口前川	2000年11月	66,000	2,400	20,000	2,900	2006年11月	4	129	–	–	–	11	1
27.	イオンモール羽生	2007年11月	75,000	5,000	17,100	3,400	2007年10月	7	2,083	21	100	○	21	1
28.	イオンレイクタウンkaze	2008年10月	61,000	2,300	28,000	3,500	2012年2月	5	–	16	253	○	14	1
29.	イオンレイクタウンmori	2008年9月	99,000	6,100	50,000	7,200	2006年8月	6	30,815	20	241	–	22	2
30.	イオンレイクタウンアウトレット	2011年4月	23,000	1,100	1,000	1,000	2006年8月	1	–	10	10	–	15	1
31.	イオンモール春日部	2013年3月	56,000	2,900	20,400	2,600	2006年8月	6	1,128	17	203	○	13	1
32.	イオンモール北戸田	2004年11月	44,000	2,600	12,600	2,400	2006年7月	3	–	7	–	–	8	1
33.	イオンモール与野	2004年12月	41,000	3,000	16,400	2,300	2006年8月	3	438	6	–	–	12	1
34.	イオンモール浦和美園	2006年4月	62,000	3,000	25,600	3,500	2006年8月	4	159	16	100	–	10	1
35.	イオンモール富津	1993年9月	28,000	1,000	32,000	700	2006年8月	4	140	20	–	–	16	1
36.	イオンモール成田	2000年3月	65,000	4,000	46,600	2,500	2006年8月	3	3,382	16	–	○	17	1
37.	イオンモール千葉ニュータウン	2006年4月	79,000	4,000	14,000	3,100	2007年3月	4	2,218	–	–	○	20	1
38.	イオンモール幕張新都心	2013年12月	128,000	7,300	50,000	4,400	2005年10月	18	182	43	1,798	○	35	4
39.	イオンモール木更津	2014年10月	84,000	4,000	30,000	2,500	2015年6月	3	2,059	11	1,334	○	17	2
40.	イオンモール津田沼	2003年9月	27,000	1,300	1,500	2,000	2006年7月	2	–	9	–	–	8	1

関東（つづき）

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量（kW）	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
41. イオンモール八千代緑が丘	2005年3月	42,000	2,500	11,500	2,200	2006年7月	3	606	–	50	–	11	1
42. イオンモール柏	2006年5月	30,000	2,000	7,900	1,400	2006年8月	2	–	–	12	–	6	1
43. イオンモール銚子	2010年3月	31,000	3,200	35,000	1,000	2010年3月	2	1,340	11	20	○	9	1
44. イオンモール船橋	2012年4月	36,000	2,300	17,300	2,300	2012年3月	2	80	20	100	–	8	2
45. イオンモールむさし村山	2006年11月	78,000	4,000	45,000	4,400	2006年9月	6	928	49	–	○	20	1
46. イオンモール日の出	2007年11月	64,000	3,600	58,400	2,700	2007年11月	4	1,302	39	100	○	15	1
47. イオンモール多摩平の森	2014年11月	24,000	1,000	600	1,900	2014年9月	3	387	9	–	○	10	1
48. イオンモール東久留米	2013年4月	31,000	1,700	20,000	1,800	2013年4月	4	528	9	10	–	14	–
49. イオンモール座間	2018年3月	50,000	2,500	25,600	3,100	2018年2月	4	143	8	1,001	–	8	2
50. イオンモール大和	2001年12月	35,000	1,900	20,000	1,900	2006年4月	4	2,891	–	–	○	12	1
小計		1,778,000	101,300	842,300	83,400	33	137	60,010	455	6,168	17	465	37

中部

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量（kW）	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
51. イオンモール新発田	2005年4月	33,000	1,700	14,200	1,000	2006年7月	3	441	10	–	–	11	1
52. イオンモール新潟南	2007年10月	51,000	4,000	30,400	2,500	2008年7月	6	843	14	–	–	11	1
53. イオンモール高岡	2002年9月	82,000	4,400	44,000	2,800	2007年12月	6	2,664	–	–	○	15	1
54. イオンモールとなみ	2015年7月	33,000	1,800	7,000	1,000	2015年6月	2	–	–	–	–	12	2
55. イオンモールかほく	2008年10月	62,000	3,300	29,400	1,500	2008年10月	2	267	12	73	–	11	1
56. イオンモール新小松	2017年3月	63,000	3,400	10,000	2,300	2017年3月	5	459	16	–	–	20	1
57. イオンモール甲府昭和	2011年3月	70,000	3,500	20,800	2,700	2011年2月	5	971	17	–	○	16	2
58. イオンモール佐久平	1999年4月	25,000	2,000	17,900	1,000	2011年9月	2	1,082	–	–	○	13	1
59. イオンモール松本	2017年9月	49,000	2,300	6,800	2,500	2008年2月	4	–	11	–	–	12	2
60. イオンモール大垣	2007年4月	43,000	2,500	29,300	1,500	2007年3月	3	1,713	10	50	○	11	1
61. イオンモール各務原	2007年7月	77,000	5,500	62,600	4,100	2007年7月	3	3,011	20	80	–	9	1
62. イオンモール浜松志都呂	2004年8月	65,000	3,500	38,000	2,200	2006年9月	5	511	19	91	–	15	1
63. イオンモール富士宮	2001年12月	40,000	2,500	24,200	1,800	2006年9月	3	1,580	45	–	–	11	1
64. イオンモール浜松市野	2005年6月	63,000	4,000	19,300	2,800	2006年9月	3	1,111	73	50	–	11	1
65. イオンモール岡崎	2000年9月	80,000	4,300	48,100	3,900	2007年3月	4	1,051	20	–	–	13	1
66. イオンモール東浦	2001年7月	75,000	4,600	25,000	3,300	2006年7月	5	376	–	–	–	10	–
67. イオンモール木曽川	2004年6月	66,000	4,400	15,000	3,000	2014年9月	2	2,227	16	–	–	17	1
68. イオンモール新瑞橋	2010年3月	38,000	1,700	5,000	1,900	2010年3月	6	45	22	69	○	18	–
69. イオンモール名古屋茶屋	2014年6月	75,000	4,100	20,000	2,500	2014年6月	5	1,043	8	266	○	15	2
70. イオンモール常滑	2015年12月	87,000	4,000	12,000	2,600	2015年11月	5	1,521	20	98	○	17	2
71. イオンモール長久手	2016年12月	59,000	2,600	8,000	3,200	2016年12月	7	360	13	362	–	12	2
72. イオンモール名古屋みなと	1999年11月	44,000	3,000	36,500	1,000	2006年10月	2	67	–	–	–	11	1
73. イオンモール熱田	2003年7月	47,000	3,800	12,300	2,700	2006年7月	4	484	–	–	–	11	1
74. イオンモール扶桑	2003年8月	34,000	2,800	17,900	1,400	2006年7月	3	278	31	50	○	11	1
75. イオンモールナゴヤドーム前	2006年3月	48,000	2,800	12,700	3,200	2009年5月	3	–	16	–	–	11	1
76. イオンモール大高	2008年3月	65,000	4,000	25,000	3,500	2008年2月	2	1,770	12	50	–	21	1
77. mozo wondercity	2009年4月	101,000	5,000	35,200	4,700	–	4	372	14	–	–	1	1
78. イオンモール鈴鹿	1996年11月	70,000	4,200	36,000	2,400	2006年8月	4	2,340	17	–	–	20	1
79. イオンモール東員	2013年11月	58,000	3,500	15,000	2,300	2013年10月	3	81	15	322	○	15	2
80. イオンモール四日市北	2001年1月	42,000	3,000	38,500	1,300	2008年8月	2	570	26	50	–	1	1
81. イオンモール明和	2001年7月	34,000	3,100	39,500	1,100	2012年3月	2	31	52	50	–	10	–
82. イオンモール桑名	1995年3月	38,000	4,000	–	1,400	2004年3月	5	133	12	–	–	11	–
83. イオンモール津南	2018年11月	60,000	3,400	10,000	2,400	2018年10月	4	843	13	–	–	9	2
小計		1,877,000	112,700	765,600	77,500	32	124	28,245	554	1,661	9	412	37

近畿

	開店年月	総賃貸面積(㎡)	駐車台数(台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量(kW)	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
84. イオンモール草津	2008年11月	78,000	4,500	68,600	3,600	2008年10月	5	1,865	48	200	○	18	2
85. イオンモール京都五条	2004年3月	36,000	1,700	11,000	2,300	2010年9月	4	1,028	–	–	–	9	1
86. イオンモールKYOTO	2010年6月	51,000	1,100	–	2,800	2011年9月	5	1,107	–	–	○	10	1
87. イオンモール京都桂川	2014年10月	77,000	3,100	10,600	4,700	2014年10月	5	1,994	23	339	○	13	4
88. イオンモール久御山	1999年6月	29,000	2,500	22,200	1,600	2011年9月	2	584	7	30	–	1	1
89. イオンモール高の原	2007年5月	44,000	2,100	17,200	2,500	2011年9月 京都 2011年3月 奈良	4	321	15	100	–	–	1
90. イオンモール堺北花田	2004年10月	72,000	2,800	6,000	3,600	2015年1月	4	1,146	6	50	–	16	1
91. イオンモールりんくう泉南	2004年11月	76,000	4,300	66,000	3,100	2005年9月	5	2,372	–	83	○	11	2
92. イオンモール鶴見緑地	2006年11月	54,000	2,200	12,000	2,400	2010年6月	5	529	–	–	–	10	1
93. イオンモール四條畷	2015年10月	75,000	4,300	20,000	3,400	2015年10月	6	1,185	13	815	–	17	2
94. イオンモール堺鉄砲町	2016年3月	56,000	2,600	10,000	2,700	2016年3月	4	86	13	473	○	10	2
95. イオンモール日根野	1995年4月	29,000	2,000	32,800	1,300	2011年4月	2	397	42	–	–	10	1
96. イオンモール大日	2006年9月	56,000	2,400	15,400	3,800	2008年8月	1	685	16	14	–	11	2
97. イオンモール大阪ドームシティ	2013年5月	34,000	700	4,200	1,700	2014年1月	5	–	16	54	–	4	–
98. イオンモール茨木	2001年1月	46,000	2,000	–	2,600	2008年9月	4	807	36	–	–	11	1
99. イオン藤井寺ショッピングセンター	2019年9月	15,000	470	5,900	1,100	2019年9月	2	266	–	100	–	1	1
100. イオンSENRITO専門館	2017年4月	9,000	400	–	500	–	2	–	–	–	–	–	–
101. イオンモール伊丹	2002年10月	57,000	2,800	30,000	3,000	2012年2月	4	–	–	102	–	13	1
102. イオンモール神戸北	2006年11月	55,000	4,000	56,000	2,900	2006年10月	7	2,035	40	–	○	17	1
103. イオンモール神戸南	2017年9月	39,000	1,400	4,000	1,600	2017年9月	4	67	14	–	–	18	2
104. イオンモール姫路リバーシティー	1993年11月	36,000	2,600	11,800	1,700	2013年3月	2	670	32	–	–	11	1
105. イオンモール猪名川	1998年4月	29,000	2,000	38,800	1,300	2012年2月	2	210	9	–	–	1	1
106. イオンモール姫路大津	2004年12月	34,000	2,600	16,200	1,700	2012年2月	2	1,254	35	100	–	11	1
107. イオンモール加西北条	2008年11月	33,000	2,100	11,900	1,000	2012年2月	4	510	14	55	–	8	1
108. イオンモール伊丹昆陽	2011年3月	48,000	2,400	10,300	2,600	2012年2月	6	730	23	1,160	–	14	1
109. イオン明石ショッピングセンター	1997年10月	58,000	3,500	–	1,600	2012年2月	2	371	–	–	–	8	–
110. 神戸ハーバーランドumie	2013年4月	85,000	3,000	–	6,000	–	4	–	–	–	–	–	2
111. イオンモール橿原	2004年4月	80,000	5,000	25,000	3,600	2010年11月	5	6,991	15	59	○	22	1
112. イオンモール大和郡山	2010年3月	67,000	4,100	20,000	2,600	2010年3月	6	701	11	–	○	18	1
113. イオンモール奈良登美ヶ丘	2006年7月	31,000	1,300	15,100	1,300	2007年6月	2	805	16	–	–	11	1
114. イオンモール和歌山	2014年3月	69,000	3,500	52,900	3,000	2014年3月	5	2,523	17	454	–	12	4
小計		1,558,000	79,470	593,900	77,600	29	120	31,239	461	4,188	8	316	41

中国・四国

	開店年月	総賃貸面積(㎡)	駐車台数(台)	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量(kW)	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
115. イオンモール日吉津	1999年3月	47,000	2,900	25,500	1,500	2006年8月	2	10,068	55	100	–	1	1
116. イオンモール鳥取北	2000年4月	48,000	3,100	9,000	1,200	2007年3月	2	573	10	–	–	17	1
117. イオンモール出雲	2016年5月	32,000	2,000	9,000	1,000	2009年1月	2	783	14	50	–	11	2
118. イオンモール倉敷	1999年9月	83,000	4,700	70,000	3,300	2006年8月	7	11,853	29	20	–	16	4
119. イオンモール岡山	2014年12月	92,000	2,500	7,900	7,100	2014年3月	5	235	12	306	○	9	2
120. イオンモール津山	1996年12月	30,000	2,000	18,700	1,000	1998年3月	2	1,182	10	–	–	1	1
121. イオンモール広島府中	2004年3月	98,000	5,000	6,400	5,000	2007年4月	7	1,117	7	519	–	21	2
122. イオンモール広島祇園	2009年4月	50,000	2,800	20,000	2,300	2009年9月	6	634	14	68	–	13	1
123. 広島段原ショッピングセンター	2011年9月	24,000	800	–	600	2012年10月	2	–	–	–	–	–	–
124. THE OUTLETS HIROSHIMA	2018年4月	53,000	4,000	9,300	2,900	2012年10月	5	–	24	–	–	14	4
125. イオンモール徳島	2017年4月	50,000	3,100	3,600	2,100	2016年1月	5	–	5	–	–	11	2

中国・四国（つづき）

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量（kW）	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
126. イオンモール高松	2007年4月	47,000	3,000	12,500	1,100	2007年6月	2	357	16	50	–	9	1
127. イオンモール綾川	2008年7月	57,000	4,000	49,000	1,700	2008年6月	3	1,141	16	140	–	8	1
128. イオンモール新居浜	2001年6月	66,000	3,500	35,000	1,600	2006年6月	6	1,088	21	30	○	16	1
129. イオンモール今治新都市	2016年4月	54,000	2,900	10,000	1,400	2017年7月	5	838	9	–	–	12	2
130. イオンモール高知	2000年12月	57,000	2,800	23,000	2,100	2007年9月	6	1,950	–	109	○	10	1
小計		888,000	49,100	308,900	35,900	16	67	31,819	242	1,392	3	169	26

九州・沖縄

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	防災協定締結年月	AED設置台数	献血参加人数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電パネル容量（kW）	空調換気省エネシステム	普通EV充電器	急速EV充電器
131. イオンモール福岡	2004年6月	90,000	5,300	14,000	3,800	2012年4月	6	930	21	–	–	22	1
132. イオンモール直方	2005年4月	58,000	3,400	39,000	2,200	2017年12月	3	649	20	–	○	14	1
133. イオンモール筑紫野	2008年12月	80,000	3,800	20,000	3,300	2009年4月	6	4,136	17	110	○	16	1
134. イオンモール大牟田	2011年3月	57,000	4,800	20,000	1,700	2011年9月	3	1,855	16	590	–	11	–
135. イオンモール福津	2012年4月	63,000	3,500	27,000	2,500	2012年3月	4	1,201	25	250	○	12	–
136. イオンモール八幡東	2006年11月	48,000	2,000	19,200	1,900	2007年8月	3	430	10	204	–	2	–
137. イオンモール宇城	1997年11月	63,000	3,300	50,000	900	2019年12月	3	35	32	1,409	–	10	–
138. イオンモール熊本	2005年10月	84,000	5,000	27,000	2,900	2006年10月	4	1,951	20	–	–	12	–
139. イオンモール三光	1996年12月	40,000	2,500	36,000	800	2006年2月	3	805	–	–	–	11	1
140. イオンモール宮崎	2005年5月	84,000	4,300	25,000	2,900	2006年9月	5	707	12	50	○	11	–
141. イオンモール都城駅前	2008年12月	28,000	1,700	8,000	900	2008年11月	3	956	–	90	–	18	1
142. イオンモール沖縄ライカム	2015年4月	86,000	4,000	8,300	3,600	2016年6月	7	763	–	259	–	14	4
小計		781,000	43,600	293,500	27,400	12	50	14,418	173	2,962	4	153	9
国内モール 合計		**7,599,000**	**432,170**	**3,227,200**	**326,100**	**139**	**555**	**196,431**	**2,044**	**16,881**	**44**	**1,670**	**167**

中国

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	太陽光発電（kW）	自動制御システム（電気・空調）	冷凍機インバータ制御	カーテンウォール遮光・遮熱フィルム	屋上緑化	中水利用（緑化帯水やり）	EV充電器	緑色二星（設計）	排油煙自動制御
143. イオンモール北京国際商城	2008年11月	54,000	3,000	8,000	1,500	–	–	–	○	–	–	–	–	–
144. イオンモール北京豊台	2015年9月	62,000	2,500	4,000	1,600	65	○	○	○	–	○	16	–	○
145. イオンモール天津TEDA	2010年10月	55,000	2,500	8,000	1,000	–	○	–	○	–	○	60	–	–
146. イオンモール天津中北	2012年4月	65,000	3,900	10,000	2,500	–	○	–	○	–	○	4	–	–
147. イオンモール天津梅江	2014年1月	62,000	2,400	10,000	3,800	–	○	○	○	–	○	–	–	–
148. イオンモール天津津南	2017年10月	70,000	2,600	6,000	2,200	85	○	○	○	–	○	75	○	–
149. イオンモール煙台金沙灘	2018年5月	72,000	2,700	2,500	1,300	320	○	○	○	–	○	22	○	○
150. イオンモール青島西海岸新区	2019年11月	70,000	2,600	8,000	1,500	–	○	○	○	–	○	–	○	○
151. イオンモール河北燕郊	2016年11月	70,000	2,700	6,000	1,100	85	○	○	○	–	○	98	–	○
152. イオンモール蘇州呉中	2014年4月	75,000	3,100	6,000	2,200	50	○	○	○	○	–	–	○	–
153. イオンモール蘇州園区湖東	2015年5月	75,000	3,000	3,300	1,800	43	○	○	○	○	○	8	○	–
154. イオンモール蘇州新区	2016年1月	74,000	3,300	3,800	1,800	60	○	○	○	○	○	132	○	○
155. イオンモール南通星湖	2017年12月	77,000	3,000	6,000	1,600	360	○	○	○	○	○	60	○	○
156. イオンモール常熟新区	2019年6月	63,000	3,800	6,000	2,100	226	○	○	○	–	○	–	○	○
157. イオンモール杭州良渚新城	2015年11月	68,000	2,500	4,000	1,300	30	○	○	○	○	○	–	○	○
158. イオンモール武漢金銀潭	2014年12月	74,000	3,000	3,000	1,600	–	○	–	○	–	–	–	–	–
159. イオンモール武漢金橋	2017年12月	55,000	1,700	2,500	1,700	–	○	○	○	○	–	12	–	○
160. イオンモール武漢経開	2015年12月	101,000	4,000	5,000	3,100	520	○	–	–	–	○	20	○	–
161. イオンモール広州番禺広場	2015年12月	64,000	1,600	3,500	2,200	–	○	–	○	–	–	17	–	○
162. イオンモール広州金沙	2018年11月	65,000	3,000	6,000	1,600	–	○	○	○	○	–	20	–	○
163. イオンモール佛山大瀝	2017年12月	69,000	2,700	4,000	1,500	190	○	○	–	–	–	20	–	–
中国 合計		**1,440,000**	**59,600**	**115,600**	**39,000**	**2,034**	**20**	**15**	**19**	**7**	**14**	**564**	**10**	**11**

ベトナム

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電（kW）	高効率空調システム	人感センサー照明発停制御	エスカレーターの自動運転制御	せせらぎの川	汚水浄化設備	EV充電器
164. イオンモール タンフーセラドン	2014年1月	84,000	バイク 11,000 車 2,000	10,000	4,700	25	–	–	–	○	–	○	–
165. イオンモール ビンタン	2016年7月	60,000	バイク 4,000 車 1,500	10,000	2,600	17	320	○	○	○	–	○	–
166. イオンモール ビンズオンキャナリー	2014年11月	49,000	バイク 6,000 車 1,000	10,000	2,600	–	–	–	–	○	–	○	–
167. イオンモール ロンビエン	2015年10月	72,000	バイク 10,000 車 1,000	11,300	3,400	8	–	○	○	○	○	○	–
168. イオンモール ハ ドン	2019年12月	74,000	バイク 9,000 車 2,100	8,900	4,200	6	–	○	○	○	–	○	2
ベトナム 合計		**339,000**	**バイク 40,000 車 7,600**	**50,200**	**17,500**	**56**	**320**	**3**	**3**	**5**	**1**	**5**	**2**

カンボジア

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電（kW）	高効率空調システム	人感センサー照明発停制御	エスカレーターの自動運転制御	せせらぎの川	汚水浄化設備	EV充電器
169. イオンモール プノンペン	2014年6月	68,000	バイク 1,600 車 2,300	10,000	4,200	9	225	○	○	○	○	○	–
170. イオンモール セン ソック シティ	2018年5月	85,000	バイク 3,000 車 2,300	12,000	4,400	9	1,037	○	○	○	○	○	1
カンボジア 合計		**153,000**	**バイク 4,600 車 4,600**	**22,000**	**8,600**	**18**	**1,262**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**1**

インドネシア

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	植樹本数	モール従業員数	登録身障者専用駐車台数	太陽光発電（kW）	高効率空調システム	人感センサー照明発停制御	エスカレーターの自動運転制御	せせらぎの川	汚水浄化設備	EV充電器
171. イオンモールBSD CITY	2015年5月	77,000	バイク 2,300 車 2,100	20,000	5,600	–	24	–	○	○	○	○	–
172. イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ	2017年9月	63,000	バイク 1,400 車 3,000	8,000	2,400	20	510	○	○	○	—	○	–
インドネシア 合計		**140,000**	**バイク 3,700 車 5,100**	**28,000**	**8,000**	**20**	**534**	**1**	**2**	**2**	**1**	**2**	**–**

OPA

	開店年月	総賃貸面積（㎡）	駐車台数（台）	敷地面積（㎡）	延床面積（㎡）	総従業員数
173. 秋田オーパ	2017年10月	11,100	3,000	2,800	20,000	200
174. 水戸オーパ	2017年3月	12,100	1,500	3,500	25,500	400
175. 高崎オーパ	2017年10月	25,600	7,000	7,400	41,700	1,200
176. 聖蹟桜ヶ丘オーパ	1999年9月	16,000	400	8,700	23,400	600
177. 八王子オーパ	2018年11月	6,100	1,300	4,000	10,100	400
178. 新百合丘オーパ	1997年11月	12,700	100	5,000	22,300	1,100
179. 湘南藤沢オーパ	1996年3月	9,500	800	2,000	19,000	500
180. 名古屋mozoオーパ	2009年4月	3,200	–	–	3,500	100
181. 河原町オーパ	1998年11月	9,700	–	2,700	18,800	300
182. 梅田オーパ	2013年4月	2,700	–	–	3,200	100
183. 心斎橋オーパ	1994年11月	11,200	–	2,800	27,000	800
心斎橋オーパきれい館	1998年8月	2,300	–	1,000	4,900	70
184. 三宮オーパ	1969年11月	5,500	–	1,500	10,300	200
185. 三宮オーパ2	2017年2月	11,700	1,700	4,700	17,600	500
186. キャナルシティオーパ	1996年4月	15,300	1,300	38,500	25,900	1,000
187. 大分オーパ	2019年6月	3,800	1,600	2,400	7,500	300
188. 那覇オーパ	2018年10月	5,200	450	12,800	7,600	200
189. ビブレジーンレイクタウン	2008年9月	2,900	8,300	–	4,300	100
190. 横浜ビブレ	1985年4月	18,500	100	6,000	44,800	1,000
191. ワールドポーターズビブレ	1999年9月	17,900	1,000	20,000	35,300	900
192. 北大路ビブレ	1995年3月	22,800	500	17,600	49,300	600
193. 明石ビブレ	1997年10月	18,100	700	11,700	29,600	600
194. 仙台フォーラス	1984年11月	14,500	4,500	4,300	32,400	400
195. 金沢フォーラス	2006年11月	26,100	4,300	100,300	45,800	1,800
OPA 合計		**284,500**	**38,550**	**259,700**	**529,800**	**13,370**

補足データ

従業員データ:連結 (2020年2月末現在)

	2018年度	2019年度
従業員数 ※臨時雇用者は( )外数で記載	3,303名 (1,554名)	**3,447名** **(1,480名)**

従業員データ:単体 (2020年2月末現在)

	2018年度	2019年度
従業員数 ※臨時雇用者は( )外数で記載 ①男性 ②女性	1,792(1,342)名 ①1,191(173)名 ② 601(1,169)名	**1,788(1,284)名** **①1,168(154)名** **② 620(1,130)名**
新入社員数 (男性/女性)	110名 (49名/61名)	**100名** **(57名/43名)**
管理職 うち女性管理職	926名 148名(16.0%)	**891名** **155名(17.4%)**
役員 うち女性役員	17名 4名(23.5%)	**17名** **4名(23.5%)**
育児休暇取得者数 (うち男性)	44名 (3名)	**54名** **(15名)**

現地法人ローカルスタッフ人数 (2020年2月末現在)

	2018年度	2019年度
合計	1,227名	**1,288名**
うち中国	737名	**766名**
うちアセアン	490名	**522名**

2019年度インプット/アウトプット (国内79モール)

INPUT

エネルギー

電気
1,472,520千kWh
(98.9%)

重油
606kl
(94.1%)

紙

コピー用紙
19,196千枚
(109.5%)

都市ガス
11,194千m³
(92.1%)

LPG
1,392千m³
(95.7%)

水資源

水
9,969千m³
(99.6%)

事業活動

モールの企画・設計

モールの運営

オフィス活動

OUTPUT

CO_2排出量
857,667t-CO_2
(92.0%)

廃棄物
79,492t
(100.2%)

リサイクル率
89.4%
(サーマル・リサイクル含む)

排水
8,799千m³
(101.3%)

中水の利用
465千m³
(105.4%)

植樹活動の推進

CO_2、熱を吸収し、水分を保持
2019年度 約2万8千本
累計植樹本数 約349万6千本

※対象は共有部分、イオン、専門店も含むモール全体。
ただし廃棄物およびリサイクル率は専門店とイオンモール事務所が対象、コピー用紙は イオンモール事務所のみ対象、植樹本数は国内・海外のモールすべてが対象となります。
※( )内は対前年比

最後までお読みいただきましてありがとうございました。
当社のCSR活動に関する情報はWebサイトでもご紹介しています。どうぞご参照ください。

https://www.aeonmall.com/csr/ イオンモール CSR 検索

ひとも、
まちも、
きらきら。

イオンモール株式会社

〒261-8539 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1
TEL: 043-212-6348　FAX: 043-212-6779
https://www.aeonmall.com

イオンモール株式会社は、
環境マネジメントシステム
の国際規格「ISO14001」の
認証取得企業です。

ISO 14001 JACO EC01J0013 UKAS MANAGEMENT SYSTEMS 051

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C014911

2020.05